

1 国語を学ぶねらい

社会生活に必要な国語の知識等を身に付け、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにし、言葉がもつ価値に気づき、読書をし、我が国の言語文化を大切にして思いや考えを伝え合おうとする態度を養うという目標を達成するため。

2 学習方法

- ・授業中、先生の説明や他の人の話をしっかり聞き、理解しノートやプリント等に板書されたことや先生が話したこと、気づきや学びを書く。
- ・発問に対しては、自分で考え、積極的に発言をする。
- ・説明を聞いても不明な点が残る場合は、その授業が終わったらすぐに質問する。
- ・授業内容は、ワーク等を使い復習をして定着させる。

3 持ち物、忘れものなどについて

●持ち物

【国語】教科書・ノート・国語と漢字のワーク・資料集

【書写・毛筆】毛筆書写道具一式・書写教科書・新聞・半紙

【書写・硬筆】書写教科書

※忘れ物をした時は授業開始時に申し出、無断で他クラスの人から借りて来ないこと。

4 学習の評価内容と評価方法

①「知識・技能」

漢字の読み書き・語句語彙の力・言葉のきまり(文法)・硬筆毛筆書写の力

【小テスト、漢字プリント、意味調べ、書写授業での取り組み、ノート、定期考査、読書】

②「思考・判断・表現」

・話すこと聞くこと

【個人のスピーチ・話し合い活動・聞き取りテスト・授業の要点を聞き取ること等】

・書くこと

【授業で習った方法で制限字数と時間内に書く、意見文・感想文・手紙文・課題作文等】

・読むこと

【文章の要点や人物の心情を読み取り自分の考えを広げ深める、授業での問答、考えの発表、ワークシート記入、ノートのまとめ、定期考査】

③「主体的に学習に取り組む態度」

あきらめず粘り強く学習課題に取り組んでいるか。よりよい作品にするための工夫をしているか。

【提出物、作品、言語感覚を豊かにするための読書への取り組み。振り返りの記述】

5 先生からのアドバイス

国語は、日本語でのコミュニケーションの力を付けるための教科です。自分の考えを持ち、工夫して伝える力、また相手の話をきちんと聞き、要点をしっかりと理解する力が重要です。そのためにも、授業中は積極的に聞き、質問し、発言をしましょう。授業で間違えることや質問することは恥ずかしいことではありません。また、手書き文字を正しく整えてより速く書く力も身に付けましょう。ノート・プリント等を速く書けるようになれば学習効率も上がります。

国語科 1年 年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4 5	朝のリレー はじまりの風	◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・提出物(プリント・ワークブック・その他) ・小テスト ・漢字テスト ・定期考査
	6	ダイコンは大きな根? ちょっと立ち止まって	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。	
	7	空の詩 三編 大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに	◎場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。	
2	9	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	◎必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの内容 ・提出物(プリント・ワークブック・その他) ・小テスト ・漢字テスト ・スピーチ ・聞き取りテスト ・作文 ・夏休みの宿題 ・定期考査
	10	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	◎文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。	
	11	蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から 今に生きる言葉 「不便」の価値を見つめ直す	◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 ◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。	
12	話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、もの見方を広げる	◎話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。		
3	1	少年の日の思い出	◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの内容 ・提出物の内容 ・漢字テスト ・書き初め ・定期考査
	2	要点を資料にまとめ、発表する	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。	
	3			